

**VIDEO RECORDING RESERVING DEVICE****Publication number:** JP6236592 (A)**Publication date:** 1994-08-23**Inventor(s):** TSUCHIKANE YOSHIYUKI; HORIUCHI MASATO; YAMAMOTO SHIGEHIO;  
HOSONO HIDEKAZU; WAIDA RIKI**Applicant(s):** VICTOR COMPANY OF JAPAN**Classification:****- international:** **G06F3/041; G06F3/03; G06F3/048; G11B15/02; G11B27/34; H04N5/44; H04N5/76;  
H04N5/782; H04N5/7826; G06F3/041; G06F3/03; G06F3/048; G11B15/02;  
G11B27/34; H04N5/44; H04N5/76; H04N5/782; H04N5/7824; (IPC1-7): G11B15/02;  
G06F3/03; G11B27/34; H04N5/782****- European:****Application number:** JP19930045943 19930210**Priority number(s):** JP19930045943 19930210**Abstract of JP 6236592 (A)**

**PURPOSE:**To provide a video recording reserving device capable of simultaneously displaying the information of a video recorded program and the information of a video recording reserved program and operating them systematically. **CONSTITUTION:**In a (program information) picture the areas displayed are as follows, a video recorded information display area displaying the information of the video recorded program, a video recording reserving information display area displaying the information of the video recording reserved program, the area scrolling the video recorded information display area and the video recording reserving information display area in the direction of an date, the area for moving to other display picture, the area for operating respective program information displayed on the video recorded information display area and the video recording reserving information display area.; Then, respective program information are displayed from a left side to a right direction in order of an early date and arranged in a vertical direction at every channel and arranged by considering a video recording start time in the picture.

-----  
Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-236592

(43)公開日 平成6年(1994)8月23日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 1 1 B 15/02	3 2 8 S	8022-5D		
G 0 6 F 3/03	3 8 0 J	7165-5B		
G 1 1 B 27/34		P 8224-5D		
H 0 4 N 5/782		Z 7916-5C		

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平5-45943

(22)出願日 平成5年(1993)2月10日

(71)出願人 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

(72)発明者 土金 由幸

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビクター株式会社内

(72)発明者 堀内 正人

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビクター株式会社内

(72)発明者 山本 茂宏

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ビクター株式会社内

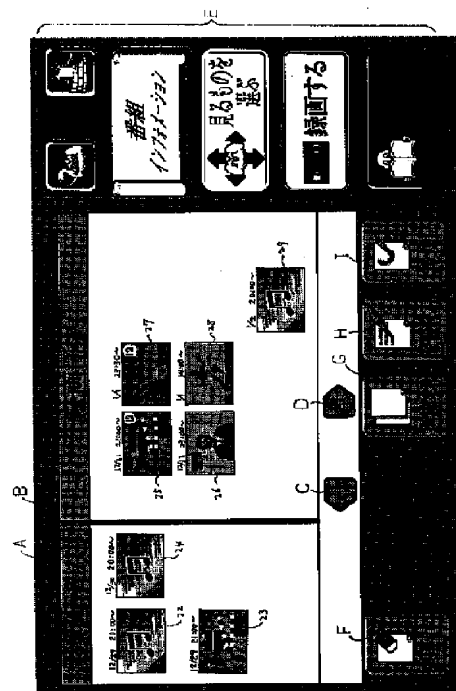
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 録画予約装置

(57)【要約】

【目的】 録画済みの番組の情報と録画予約されている番組の情報を同時に表示すると共に、統一的に操作することのできる録画予約装置を提供する。

【構成】 「番組インフォメーション」画面は、録画済み番組の情報を表示する録画済み情報表示領域A、録画予約された番組の情報を表示する録画予約情報表示領域B、この録画済み情報表示領域A及び録画予約情報表示領域Bを日付の方向にスクロールさせる領域C、D、他の表示画面に移動するための領域E、録画済み情報表示領域A及び録画予約情報表示領域Bに表示されている各番組情報22～29を操作するための領域F～Iが表示されている。そして、各番組情報22～29は、それぞれの領域A、B内で、まず、日付の早い順番に左側から右方向に表示され、チャンネルごとに縦方向に配列されており、さらにその中で録画開始時間が考慮されて並べられている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】録画された映像の情報を表示する録画済み画面と、録画予約された映像の情報を表示する録画予約画面とを同時に表示し、

前記録画済み画面及び録画予約画面それぞれの一方の軸方向に録画または録画予約された日付をとり、他方の軸方向に inputs の種類をとって前記録画または録画予約された映像の情報を並べて表示し、

前記録画予約画面に表示されている前記録画予約された映像の情報を録画終了後に前記録画済み画面内に移動させて前記録画された映像の情報として表示することを特徴とする録画予約装置。

【請求項2】請求項1記載の録画予約装置であって、録画済み画面または録画予約画面内に表示されている録画または録画予約された映像の情報の表示部分を選択することにより、その情報の詳細表示を行うことを特徴とする録画予約装置。

【請求項3】請求項1または請求項2記載の録画予約装置であって、録画済み画面および録画予約画面を日付の前後方向にスクロールさせて表示することを特徴とする録画予約装置。

【請求項4】請求項1、請求項2または請求項3記載の録画予約装置であって、画面上に表示された録画または録画予約された映像の情報の表示部分及び操作領域を直接押圧して操作入力を行うことを特徴とする録画予約装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ビデオテープレコーダ等、テレビジョン放送や外部から入力される情報を録画予約するための録画予約装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、VTR（ビデオテープレコーダ）にて、近未来に放送される番組を録画するための予約を行う録画予約は、録画予約したい番組の開始時間、終了時間、チャンネル、録画モード等多くの項目を入力しなければならず、一般の使用者にとってその操作はかなり難しく、予約の設定を間違えて、希望する番組の録画ができないということがあった。このため、録画予約の方法を簡単にするために、いくつかの提案がなされている。

【0003】例えば、特開平3-215781~4号には、予約された番組の内容をテレビ画面に表示して、重複予約を表示したり、2つの時間軸を使用したり、項目指定による表示をしたり、カレンダーを表示したりして、使用者の録画予約を補助するようにしている。また、特開平4-42454号には、予約者ごとのデータ表示を行う技術が開示されている。また、最近では、録画予約に必要な情報を数桁の数字列に変換して、番組表と共に使用者に提供し、使用者がその数字列を入力することに

より、録画予約が可能となるものもある。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記したように、録画予約の方法やその表示については種々の提案がなされているが、録画済みの番組の情報と録画予約されている番組の情報とを統一的に扱ったものはなく、使用者が別々に管理するしかなかった。また、毎週または毎日同じ番組を録画する場合には、録画予約画面では、一行に表示されるので、他の番組予約との前後関係が判りにくく、記録開始時間前にテープを代え忘れてテープ残量が足りなくなったり、タイマー記録モードにするのを忘れたりするなどの課題があった。

【0005】そこで本発明は、録画済みの番組の情報と録画予約されている番組の情報とを同時に表示すると共に、統一的に操作することのできる録画予約装置を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための手段として、録画された映像の情報を表示する録画済み画面と、録画予約された映像の情報を表示する録画予約画面とを同時に表示し、前記録画済み画面及び録画予約画面それぞれの一方の軸方向に録画または録画予約された日付をとり、他方の軸方向に inputs の種類をとって前記録画または録画予約された映像の情報を並べて表示し、前記録画予約画面に表示されている前記録画予約された映像の情報を録画終了後に前記録画済み画面内に移動させて前記録画された映像の情報として表示することを特徴とする録画予約装置を提供しようとするものである。

## 【0007】

【実施例】本発明の録画予約装置の一実施例として、VTR（ビデオテープレコーダ）などを操作する入力表示装置を図1~図4に示し、以下に説明する。入力表示装置1は、図1の概略構成図に示すように、入力表示部2とコントロール部10とに大別される。そして、入力表示部2は図2の側断面図に示すように、液晶表示装置やCRT装置等の情報表示部3の上に透明なタッチパネル等の押圧位置を検出する押圧位置検出シート4が設けられている。

【0008】また、コントロール部10は、図1に示すように、押圧位置検出シート4の押圧位置を検出する押圧位置検出部11、記憶している選択肢に対応する入力領域と背景画像を情報表示部3に表示させる入力領域表示部12、押圧位置検出部11にて検出した押圧位置と入力領域表示部12にて表示した入力領域の位置とを比較する位置比較判別部13、入力画面の切り換えなどに応じて変化する入力領域の表示位置や種類、背景画像等を入力領域表示部12に指示する入力領域制御部14、キャラクタの位置や種類等を制御するキャラクタ制御部15、このキャラクタ制御部15からの制御信号によつ

て記憶されている擬人化されたキャラクタを情報表示部3に表示させるキャラクタ表示部16、位置比較判別部13から供給される信号によって全体を制御するフロー制御部17、このフロー制御部17に各種モード等の制御内容を出力する記憶部18及びフロー制御部17からの制御信号によって接続されている各種機器を制御する接続機器制御部19とで構成されている。

【0009】なお、押圧位置検出シート4と押圧位置検出部11は、指等で押されたときの圧力変化した位置を検出するように構成しても、特定のペン等で入力されたときの静電容量の変化した位置を押圧位置として検出するように構成しても良い。

【0010】さらに、このような入力表示装置1の外観例を図3に示す。同図において、入力表示装置1は、脚部5によって入力表示部2が斜めに立つように支持されており、使用者が入力表示部2の表示を楽に見ることができ、入力もしやすいようになっている。また、コントロール部10は入力表示部2の周囲部分または脚部5に内蔵されており、さらに、脚部5には、各種機器とバスまたは制御ラインによって接続するための接続端子または各種機器へ向けて無線信号を出力する信号出力部が取り付けられている。なお、コントロール部10が大きくなる場合は、図3で示す外観例の部分は入力表示部2だけで構成し、コントロール部10及び接続端子または信号出力部を別体で用意しても良い。

【0011】そして、図4に示すように、入力表示装置1の接続機器制御部19には、バスまたは制御ラインによってVTR20a、テレビジョン装置20b、オーディオアンプ20c、CDプレーヤ20d及びカセットデッキ20e等の各種映像音響機器20が接続されており、この入力表示装置1の接続機器制御部19によって各種映像音響機器20をコントロールすることができる。なお、入力表示装置1と各種映像音響機器20とは、バスまたは制御ラインなどの有線で接続する場合に限らず、赤外線やその他の無線信号によってコントロールするようにしても良い。

【0012】次に、入力表示装置1の動作について、図1の概略構成図を中心にして説明する。入力表示部2の情報表示部3には、選択肢の領域、背景画像及びキャラクタが表示される。そして、各選択肢の領域や背景画像は入力領域制御部14からの指示によって入力領域表示部12が表示することにより、各種モードに応じて変化する入力領域と背景画像とが得られ、キャラクタはキャラクタ制御部15からの指示によって、キャラクタの位置や種類が指定され、キャラクタ表示部16が表示することによって、表情が変化したり、動作しながら移動したりというアニメーション表示を行っている。また、それぞれの選択肢の領域及びキャラクタは、線で囲んだり、色付けしたりすることにより、その位置と範囲を使用者に対して明確にしており、必要に応じて、その色、

形や大きさ等を変化させることができる。

【0013】ここで、使用者が選択肢の内のひとつを選択すると、情報表示部3に表示されているその選択肢の領域上にある押圧位置検出シート4の検出部が指等で押圧されたことを押圧位置検出部11が検出し、その押圧位置情報が、位置比較判別部13に供給される。そして、この位置比較判別部13には、入力領域表示部12から選択肢の1領域表示位置が供給されているので、この表示位置と押圧位置情報とを比較して、選択された選択肢をフロー制御部17に供給する。

【0014】フロー制御部17では、選択された選択肢に対応する制御内容を記憶部18から読みだして、入力領域制御部14に選択肢の色を変えたり、次の表示画面に変えたりするよう指示したり、キャラクタ制御部15にキャラクタの位置や種類等を変えてキャラクタの表情、動作等を変化させることにより、あたかもキャラクタが使用者に代って動作しているかのように表示させて、使用者の選択した選択肢を受付けたことを使用者に知らせたり、次の選択肢を選びやすくするために使用者を誘導したりする。また、選択された内容によっては、接続機器制御部19に制御信号を供給して、外部に接続されている各種映像音響機器20を制御させる。

【0015】このように、入力表示装置1を動作させることにより、使用者は、入力表示部2上に表示されている入力領域やキャラクタを見て押すだけで、全ての映像音響機器20の入力操作が行うことができる。その結果、使用者は、簡単に操作することができる。また、入力表示装置1や映像音響機器20の操作ボタン等も不要となるので装置自体を安価に作成することができると共に、使用者が見ただけで操作が難しいと思って、最初から操作することを諦めてしまうといったことを防止することができる。

【0016】さらに、入力表示装置1を操作した場合の表示画面の動作について、入力表示部2に表示される表示画面及びフローチャートを中心にして説明する。なお、背景画面の表示や押圧検出、キャラクタの移動などにおけるコントロール部10内の動作は、上記した説明の通りであるので、以降の説明では省略する。

【0017】図5は「番組インフォメーション」画面を示す図であり、入力表示部2に表示される他の表示画面において、「番組インフォメーション」を示す領域を押圧することにより、この画面が現れる。同図に示す「番組インフォメーション」画面は、録画済み番組の情報を表示する録画済み情報表示領域A、録画予約された番組の情報を表示する録画予約情報表示領域B、この録画済み情報表示領域A及び録画予約情報表示領域Bを日付の方向にスクロールさせる領域C、D、他の表示画面に移動するための領域E、録画済み情報表示領域A及び録画予約情報表示領域Bに表示されている各番組情報22～29を操作するための領域F～Iが表示されている。

【0018】そして、録画済み情報表示領域A及び録画予約情報表示領域Bに表示されている各番組情報22～29は、それぞれの領域A、B内で、まず、日付の早い順番に左側から右方向に表示され、チャンネル（入力の種類）ごとに縦方向に配列されており、さらにその中で録画開始時間が考慮されて並べられている。また、録画済み情報表示領域A及び録画予約情報表示領域Bは、領域C、Dを押すことにより、日付の方向（左右方向）にスクロールさせて、現在の日付付近以外の情報も見ることができる。そして、各番組情報22～29には、録画開始日、開始時間、チャンネルが表示されると共に、内容（ジャンル）を表す絵が表示され、各番組情報の内容が判るようになっている。

【0019】ここで、新たに番組の録画予約を行う場合には、「登録する」領域Hを押すことにより、図6に示すような登録画面が表示され、録画予約を行うことができる。ここでは、録画予約に必要な情報が数桁の数字列に変換されて番組表と共に提供されており、この数字列を入力することにより、録画予約を行うものとする。同図において、番組表などを見て録画予約したい番組に対応する数字列を数字キーH1により入力すると、その数字列が領域H2に表示されると共に、数字列に対応する番組の情報が領域H3に表示される。使用者は、これらの表示を見て希望の番組であることを確認し、さらに、領域H4によりその番組を「一回だけ」録画するのか、「毎週」、「毎日」録画するのを選択し、領域H5に示されているその時間に「録画」するのか、その時間に「見る」のか、「登録のみ」して実行しないのか、の中から「録画」するを選択し、さらに「録画」する場合は、「標準」モードで録画するのか「3倍」モードで録画するのを領域H6にて設定する。

【0020】そして、全ての設定が終了し、内容を確認した結果、これで良い場合には、「OK」領域H7を押すことにより、図5の「番組インフォメーション」画面に戻る。このとき、今登録した番組情報は、録画予約情報表示領域B内に表示されるが、その位置は、日付、チャンネル、開始時間によって、変わってくる。その位置を指定する手順を図7のフローチャートに示す。

【0021】図6の登録画面において、「OK」領域H7が押されると、まず、「番組インフォメーション」画面の録画予約情報表示領域B内に既に予約されている番組情報があるかどうかを判断し（ステップ52）、番組情報がなければ（ステップ52→N）、録画予約情報表示領域Bの左上に新規に登録した番組情報を表示して（ステップ53）終了する。

【0022】そして、既に予約されている番組情報がある場合には（ステップ52→Y）、それらの日付を新規に登録した番組情報の日付と比較して（ステップ54）、新規に登録した番組情報の日付が一番最後（遅い）の日付であるときは、ステップ55へ行き、新規に

登録した番組情報と同日の番組情報がある場合には、ステップ56へ行き、それ以外の場合には、ステップ57へ行く。

【0023】新規に登録した番組情報の日付が一番最後の日付であるときは、ステップ55において、既に予約されている番組情報の中に、新規に登録した番組情報と同じチャンネルのものがあるかどうかを判断し、同じチャンネルのものがなければ（ステップ55→N）、一番右下（上下左右に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示し（ステップ58）、同じチャンネルの番組情報がある場合には（ステップ55→Y）、その番組情報と同じ段の一番右側（上下に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示する（ステップ59）。

【0024】また、新規に登録した番組情報の日付と同日の番組情報がある場合には、ステップ56において、同日同チャンネルの番組情報があるかどうかを判断し（ステップ56）、同日同チャンネルの番組情報がない場合には（ステップ56→N）、さらに別の日に同チャンネルの番組情報があるかどうかを判断し（ステップ60）、ある場合には（ステップ60→Y）、同日の番組情報の列内で同チャンネルの番組情報と同じ段に表示し（ステップ61）、別の日にも同チャンネルの番組情報がない場合には（ステップ60→N）、同日の番組情報の列内の一番下（左右に番組情報の表示がない）位置に表示する（ステップ62）。

【0025】そして、同日同チャンネルの番組情報がある場合には（ステップ56→Y）、その番組情報の開始時間と新規に登録した番組情報の開始時間とを比較して（ステップ63）、新規に登録した番組情報の開始時間の方が早ければ（ステップ63→早）、新規に登録した番組情報がこの同日同チャンネルの番組情報の左側に来るようにして表示し（ステップ64）、新規に登録した番組情報の開始時間の方が遅ければ（ステップ63→遅）、新規に登録した番組情報がこの同日同チャンネルの番組情報の右側に来るようにして表示する（ステップ65）。

【0026】最後に、ステップ54において、それ以外の場合について説明する。新規に登録した番組情報の日付が一番最後ではなく、同日の番組情報もない場合には、この新規に登録した番組情報の日付よりも前の日付の番組情報があるかどうかを判断し（ステップ57）、前の日付の番組情報がなければ（ステップ57→N）、この新規に登録した番組情報が一番前（左側）の列に来る。そして、このとき、既に予約されている番組情報の中に、新規に登録した番組情報と同じチャンネルのものがあるかどうかを判断し（ステップ66）、同じチャンネルのものがなければ（ステップ66→N）、一番左下（上下左右に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示し（ステップ67）、同じチャ

ンネルの番組情報がある場合には（ステップ66→Y）、その番組情報と同じ段の一番左側（上下に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示する（ステップ68）。

【0027】新規に登録した番組情報の日付よりも前の日付の番組情報がある場合には（ステップ57→Y）、新規に登録した番組情報の日付に一番近い前の日付の番組情報の右側の列に新規に登録した番組情報を表示することになる。そして、この一番近い前の日付の番組情報の中に、新規に登録した番組情報と同じチャンネルのものがあるかどうかを判断し（ステップ69）、同じチャンネルの番組情報がある場合には（ステップ69→Y）、その番組情報と同じ段の右側（上下に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示する（ステップ70）。そして、同じチャンネルのものがない場合には（ステップ69→N）、既に予約されている他の番組情報の中に、新規に登録した番組情報と同じチャンネルのものがあるかどうかを判断し（ステップ71）、同じチャンネルのものがない場合には（ステップ71→N）、一番近い前の日付の番組情報の右側の列内の一番下（上下左右に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示し（ステップ72）、同じチャンネルの番組情報がある場合には（ステップ71→Y）、一番近い前の日付の番組情報の右側の列内のその番組情報と同じ段（上下に番組情報の表示がない）位置に新規に登録した番組情報を表示する（ステップ73）。

【0028】また、領域H4により、「毎週」または「毎日」録画する選択をした場合には、該当する全ての曜日、日に番組情報が表示される。この結果、何が予約されているのかが日付ごとに一目で分かる。このようにして、表示することにより、図5に示した「番組インフォメーション」画面のように番組情報22～29が配置されて表示されることになる。なお、新規に登録した番組情報を表示しようとする位置に、既に予約されている番組情報がある場合には、この予約されている番組情報を含む列、段以降の番組情報を必要に応じて右、下に移動して新規に登録した番組情報を挿入する形で表示するようにする。

【0029】このようにして指定の位置に表示される各番組情報22～29に番組情報のジャンルを示す絵をつけるには、「絵をつける」領域Iと絵をつけたい番組情報の表示領域とを押してサブ画面（図示せず）を開き、そこに用意されているいくつかのモデル絵の中から選ぶか、自分で絵や番組のタイトル等を描いて登録する。また、スキャナー等によって絵を外部から読み込んでも良い。そして、「更新する」領域Gと更新したい番組情報の表示領域とを押すことにより、番組情報の内容を変更することができる。このとき、日付、チャンネル、開始時間に変更があれば、図7のフローチャートと同様の手

順にしたがって番組情報の表示位置を適正な位置に移動する。さらに、「消去する」領域Fと消去したい番組情報の表示領域とを押すことにより、登録した番組情報を消去することができる。

【0030】また、番組情報22～29のより詳しい内容を知りたいときは、知りたい番組情報の表示領域を押すことにより、図8に示すような詳細画面が表示され、番組情報の内容を確認することができる。そして、「OK」領域Jを押すことにより、「番組インフォメーション」画面に戻ることができる。さらに、ビデオテープレコーダに該当する記録済みテープを装着しているときに、番組情報の表示領域を2度押すことにより、その番組を頭出しして再生させることも可能である。

【0031】そして、録画予約情報表示領域Bに表示されている番組情報27～29は、それぞれ録画が終了すると、自動的に録画済み情報表示領域Aに移動して表示される。その際の表示位置は、図7のフローチャートと同様にして決められる。以上説明した実施例は、入力表示部2を直接押圧する入力装置1を例にあげたが、本発明は、ビデオテープレコーダに組込んで使用しても良く、その際には、各領域の指定は、カーソルキーなどにより行っても良い。

#### 【0032】

【発明の効果】本発明の録画予約装置は、録画された映像の情報を表示する録画済み画面と、録画予約された映像の情報を表示する録画予約画面とを同時に表示しているので、録画された番組情報から録画予定の番組情報まで同時に見ることができる。そして、録画された映像の情報と録画予約された映像の情報とを統一的に操作することができる。

【0033】また、録画済み画面及び録画予約画面それぞれの一方の軸方向に録画または録画予約された日付をとり、他方の軸方向に入力の種類をとって録画または録画予約された映像の情報を並べて表示しているので、特に、毎週または毎日録画する連続ものの番組情報が同じ段に並び、所望の番組を探すのが容易になる。そして、録画予約画面に表示されている録画予約された映像の情報を録画終了後に録画済み画面内に移動させて録画された映像の情報として表示するので、録画終了後、ライブラリーとしての番組情報を改めて登録する必要がなくなる。

【0034】さらに、録画済み画面または録画予約画面内に表示されている録画または録画予約された映像の情報の表示部分を選択することにより、その情報の詳細表示を行うようにした場合には、録画済み画面及び録画予約画面には、必要最低限の情報のみ表示しておけば良く、見易くすることができる。また、映像の情報の表示部分を直接指定するので、操作が簡単となる。

【0035】そして、録画済み画面および録画予約画面を日付の前後方向にスクロールさせて表示する場合に

は、時間の連続性の中で、全体を意識しながら見たいところだけを見ることができる。

【0036】また、画面上に表示された録画または録画予約された映像の情報の表示部分及び操作領域を直接押圧して操作入力を行う場合には、表示を見ながら直接操作することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の録画予約装置の一実施例である入力表示装置を示す概略構成図である。

【図2】入力表示部2の例を示す側断面図である。

【図3】入力表示装置1の外観例を示す概略構成図である。

【図4】入力表示装置1の使用例を示す概略構成図である。

【図5】入力表示部2の「番組インフォメーション」画面例を示す図である。

【図6】入力表示部2の登録画面例を示す図である。

【図7】「番組インフォメーション」画面に登録した番組情報の表示位置を決める手順を示すフローチャートである。

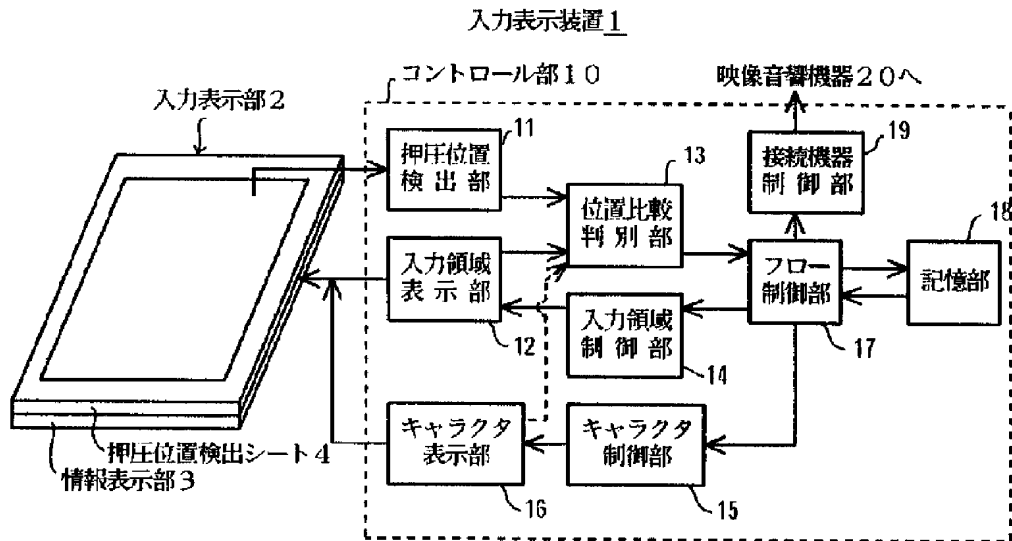
【図8】入力表示部2の詳細表示画面例を示す図であ

る。

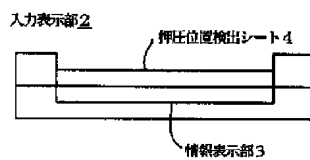
【符号の説明】

- 1 入力表示装置
- 2 入力表示部
- 3 情報表示部
- 4 押圧位置検出シート
- 5 脚部
- 10 コントロール部
- 11 押圧位置検出部
- 12 入力領域表示部
- 13 位置比較判別部
- 14 入力領域制御部
- 15 キャラクタ制御部
- 16 キャラクタ表示部
- 17 フロー制御部
- 18 記憶部
- 19 接続機器制御部
- 20 映像音響機器
- 22～29 番組情報
- A 録画済み情報表示領域
- B 録画予約情報表示領域

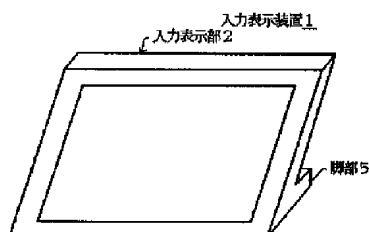
【図1】



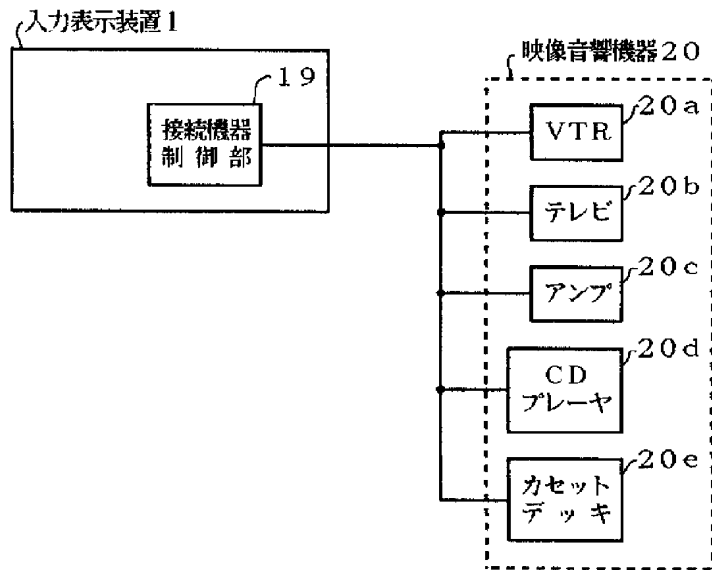
【図2】



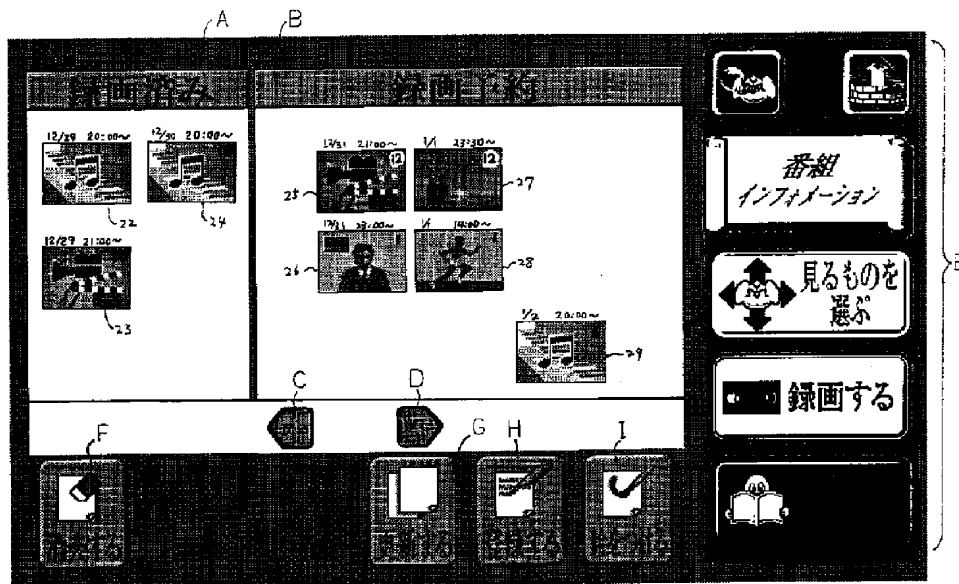
【図3】



【図4】

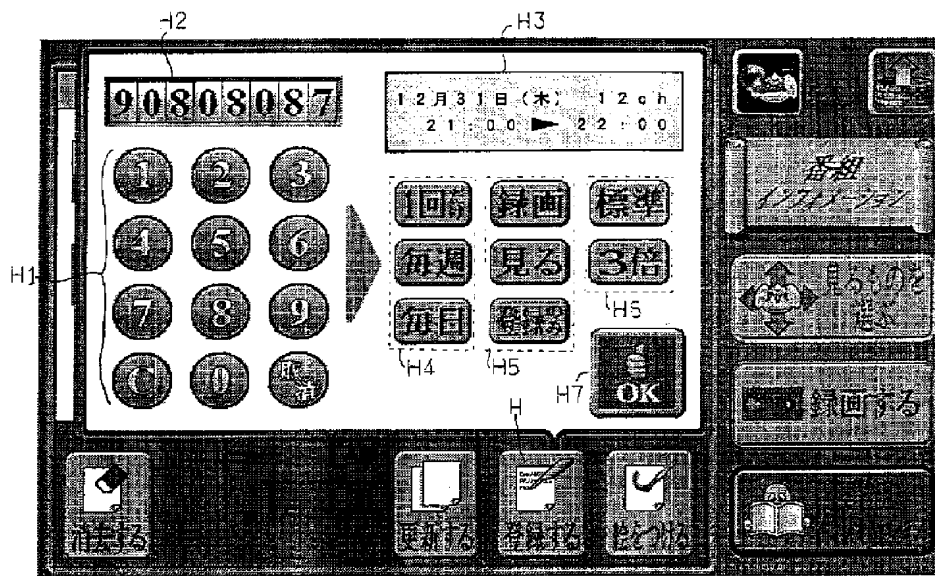


【図5】

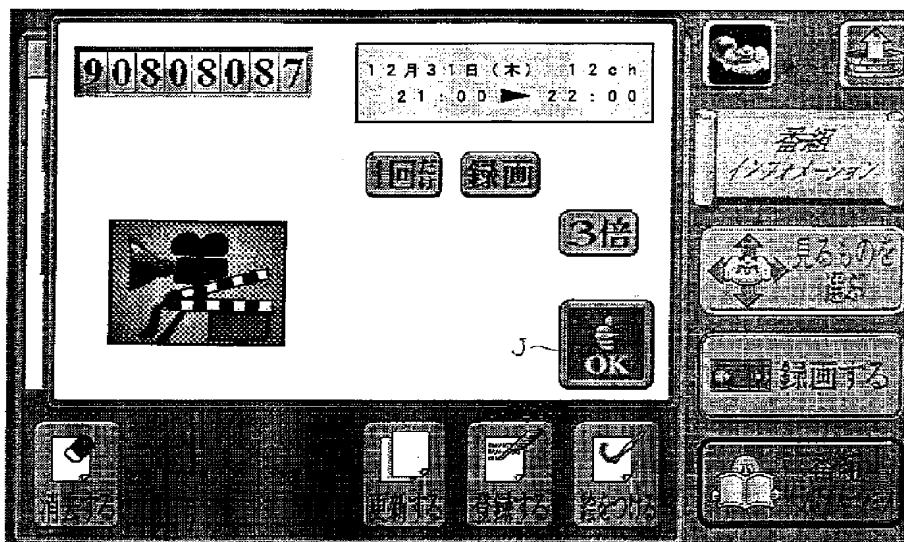




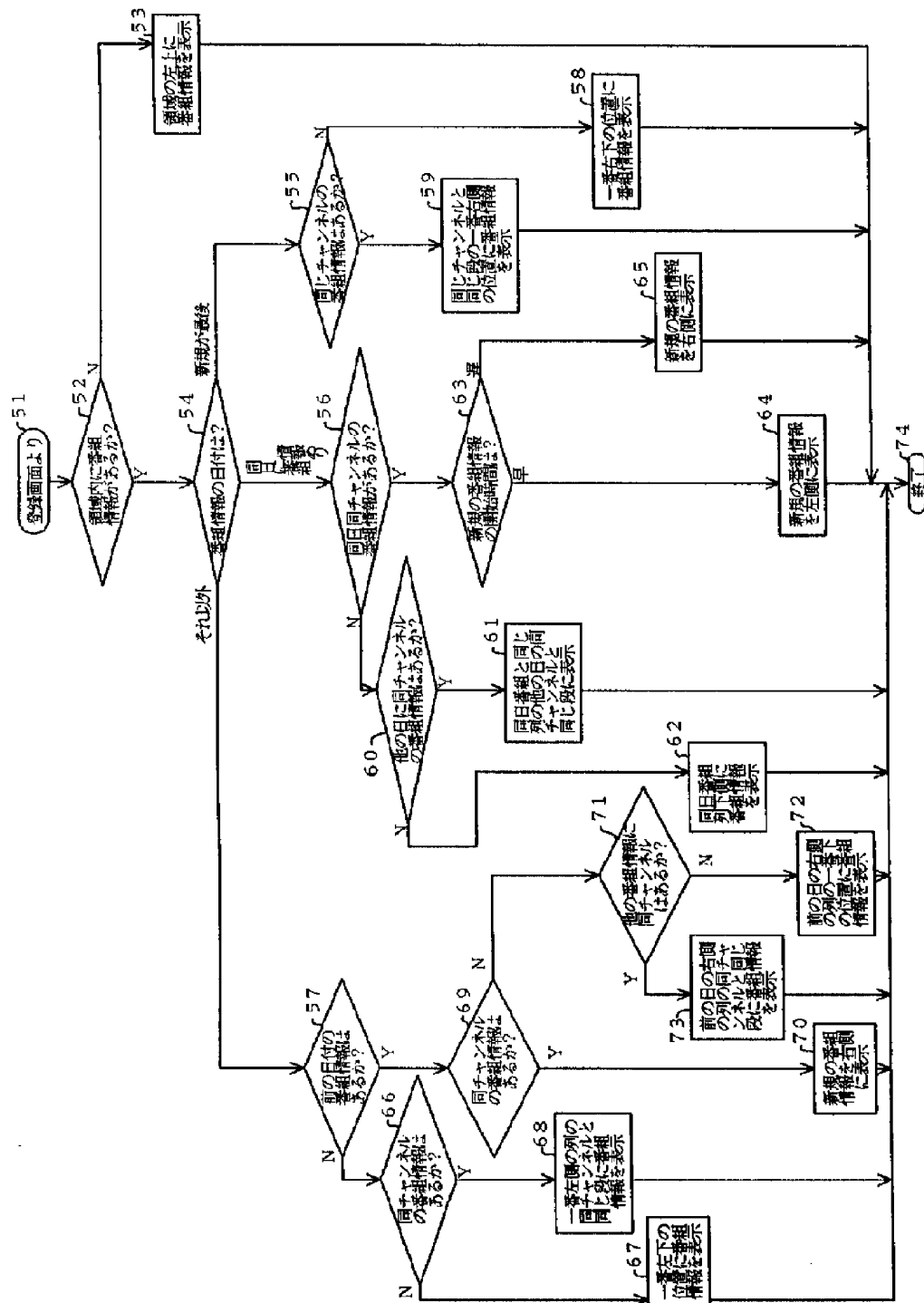
【図6】



【図8】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 細野 英一

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番

地 日本ビクター株式会社内

(72)発明者 和井田 理科

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番

地 日本ビクター株式会社内